### 【法人の概要】

代 表	表 者 名	理事長 渡邉 聡尚	所管部(局)課 農政部	畜産課	
所	在 地	北杜市小淵沢町10060-3	電 話 番 号 0551-	36-3945	
ホーム	ページURL	http://www.nns.ne.jp/ass/baji	E-mail アドレス <u>baji@nns</u>	.ne.jp	
資本金	(基本財産)	1,000 千円	設立年月日昭和57年	<b></b>	
	出資順位	出資者名	<del>等</del>	出資額	出資比率
	1	山梨県		400 千円	40.0 %
	2	北杜市		400 千円	40.0 %
	3	山梨県馬術連盟		200 千円	20.0 %
主	4			千円	0.0 %
な	5			千円	0.0 %
出	6			千円	0.0 %
資	7			千円	0.0 %
出資者等	8			千円	0.0 %
等	9			千円	0.0 %
	10			千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)		千円	0.0 %
	その他			千円	0.0 %
				1,000 千円	
	·	去人は、「かいじ国体」(昭和61年10			これを有効
設 立 目 的	活用して事	業を実施する法人として、県・小淵沢町 	・馬何理盟の出捐により設立	Lo	
目的	一个成24年3	月23日 公益財団法人に認定。	七世公笠ナ仁い +-マ玄辛	の振御に宝とせて	- L

経 緯 (目的) 馬術技術の普及奨励と優良乗用馬の育成供給等を行い、もって畜産の振興に寄与すること。 概況等 (経緯概況等) 国体終了後も県の馬事振興を図る拠点とし、各種大会の開催、研修会開催等により馬術普及に貢献している。更には、県内外から人を呼び込むことで、観光業等地域振興にも貢献している。

【主要事業の概要】

	ナか声番々	中央	事業費(単位:千円)				
主な事業名		内容			令和4年度		
事業1	馬事技術普及奨励事業	各種大会・合宿の受け入れ、施設の利用を通して馬事 普及を図った。県有競技馬を中心とした調教技術の向 上に努め選手強化の実績を挙げた。	55,949	59,865	58,630		
事業2	優良乗用馬育成供給事 業	競走馬からの転用馬の再調教を施し乗馬関係者に供 給した。	2,820	3,017	2,955		
事業3		地域と連携し馬の町まつり等の開催を支援し、地域スポーツ文化及び馬事振興発展に協力した。	1,864	1,994	1,953		

【組織】

THE HISK I	年	度令	ŧo	3	年月	专			令和	4	年月	专			令和	5	年度		
各年度任			耶	哉ロパー	県職員派遣	県職員兼	県 O B	その他		職プ ロパー 員	県職員派遣	県職員兼	県 O B	その他		職プ ロ パ 員	県職員兼務	県 O B	その他
	理事(常勤)		1				1		1				1		1			1	
	理事(非常勤	])	8			3		5	9			3		6	8		3		5
役員等	監事(常勤)		0						0						0				
仅貝寸	監事(非常勤	])	2					2	2					2	2				2
	評議員		5					5	5					5	5				5
	計	1	6	0	0	3	1	12	17	0	0	3	1	13	16	0	0 3	1	12
	管理職		0						0						0				
	一般職員		3	3					3	3					4	3	1		
職員	臨時職員		4			$\overline{A}$		4	3			$\overline{}$		3	2	$\overline{}$			2
	非常勤職員		0						0						0				
	計		7	3	0	0	0	4	6	3	0	0	0	3	6	3	1 0	0	2
令和5年度 年		年齢	~20	0 21	~3	30	31~4	40 41	~50	51~	60	61点	歳以上	合計	-	平	均年齡	平均	年収
プロパー職員 男		男性								1				1	役	常	\ <b>'</b> /	(	(千円)
	年齢構成	女性				T			1	1				2	員	勤	*	>	
(令和6年4月1日現在)合		合計	0		0		0		1	2			0	3	職	常	52	(	(千円)
※個人の年齢、年収が容易に推定できるため不記載						員	勤	32	4	,405									

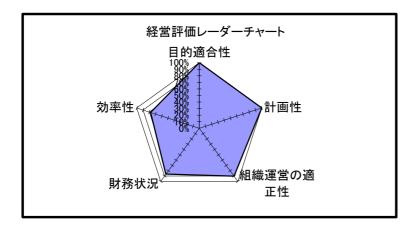
<b>-</b>					
【経言	営の状況】				<u> (単位:千円)</u>
	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減
	基本財産等運用益				
	受取会費•受取寄付金				C
	受託事業収益	21,587	28,231	28,739	508
	自主事業収益	37,065	55,038	47,515	△ 7,523
	受取補助金等	24,801	23,973	23,973	<u>C</u>
正	その他の収益	20.170	10-010		C
味	経常収入 計	83,453	107,242	100,227	△ 7,015
財	事業費	94,840	101,754	99,747	△ 2,007
産	うち人件費	30,539	30,907	31,626	719
の	管理費	3,700	2,374	2,254	△ 120
状	うち人件費	2,371	1,407	1,459	52
況	経常支出 計	98,540	104,128	102,001	△ 2,127
///	当期経常増減額	△ 15,087	3,114	△ 1,774	△ 4,888
	経常外収入				0
	経常外支出	71	300	71	△ 229
	当期経常外増減額	△ 71	△ 300	△ 71	229
	当期一般正味財産増減額	△ 15,158	2,814	△ 1,845	△ 4,659
	当期指定正味財産増減額	△ 24,801	△ 23,973	△ 23,973	0
	正味財産期末残高	557,497	536,338	510,520	△ 25,818
					(単位:千円)
	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減
	流動資産	6,443	10,865	14,288	3,423
	固定資産	558,925	535,308	506,857	△ 28,451
	資産 計	565,368	546,173	521,145	△ 25,028
財	流動負債	6,386	7,930	8,297	367
務	うち短期借入金				C
状	固定負債	1,486	1,905	2,328	423
況	うち長期借入金				C
	負債 計	7,872	9,835	10,625	790
	正味財産	557,496	536,338	510,520	△ 25,818
	うち基本財産への充当額	1,000	1,000	1,000	C
	うち特定資産への充当額	485,091	461,119	437,146	△ 23,973
					(単位:千円)
	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減
	負担金				0
県	人件費補助金				
の	人件費補助金 人件費以外の補助金				<u> </u>
の財	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金	0	0	0	C
の財政	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金 事業費補助金	0	0	0	C C C
の財政的	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金 事業費補助金 補助金 計	0	0	0	() () ()
の財政的関	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金 事業費補助金 補助金 計 人件費委託金	0 5,901	0 6,041	0 6,107	C C C C 66
の財政的関与	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金 事業費補助金 補助金 計 人件費委託金 人件費以外の委託金	0 5,901 9,802	0 6,041 9,817	0 6,107 10,549	( ( ( 66 732
の財政的関与の	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金 事業費補助金 補助金 計 人件費委託金 人件費以外の委託金 委託金 計	0 5,901 9,802 15,703	0 6,041 9,817 15,858	0 6,107 10,549 16,656	0 0 0 0 66 732 798
の財政的関与の状	人件費補助金       人件費以外の補助金       運営費補助金       事業費補助金       補助金       計       人件費       人件費以外の委託金       委託金       計       県支出金	0 5,901 9,802 15,703 15,703	0 6,041 9,817 15,858 15,858	0 6,107 10,549 16,656 16,656	732 798
の財政的関与の	人件費補助金 人件費以外の補助金 運営費補助金 事業費補助金 補助金 計 人件費委託金 人件費以外の委託金 委託金 計 県支出金 計 県の財政的関与の割合(%)	0 5,901 9,802 15,703	0 6,041 9,817 15,858	0 6,107 10,549 16,656	C
の財政的関与の状	人件費補助金       人件費以外の補助金       運営費補助金       事業費補助金       補助金       計       人件費       人件費以外の委託金       委託金       計       県支出金	0 5,901 9,802 15,703 15,703	0 6,041 9,817 15,858 15,858	0 6,107 10,549 16,656 16,656	732 798

## 【県の財政的関与の状況(令和4年度)】

項目	内容·目的·金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	県有競技馬の能力を効果的に発揮させるための飼育管理業務に係る委託経費と、民間強化指 定馬への飼育管理費・調教費を併せ 16,656千円
県債務負担 実際残高	

### 【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と 適合した業務を行っているかを問う視点	3	10	10	100.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業 運営に取り組んでいるかを問う視点	3	10	10	100.0%
組織運営の 適 正 性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	10	9	90.0%
財 務 状 況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	44	38	86.4%
効 率 性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物 的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	18	14	77.8%
	合 計	21	92	81	88.0%



# 【警戒指標数】 目標達成度 正味財産増減 流動比率 借入金依存率 債務超過 県の将来負担見込 回収不能債権 県の債務処理補助等 公益認定基準抵触

## 【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	公益財団法人として設立目的に沿った事業を実施し、本県の馬事振興に貢献するとともに、地域の観 光協会、商工会等による山梨県馬術競技場サポートクラブと連携し、大規模馬術大会の運営をサポート することで、地域の活性化に大きな成果をあげている。
計画性	経営計画及び事業運営合理化計画に基づいた管理運営を行っている。
組織運営の 適 正 性	組織の人員構成や業務内容のチェック、また、各種規程等の見直しによる業務改善を常に心掛けている。また、ホームページを活用し、活動内容や財務状況等も積極的に公開している。
財務状況	今年度の施設使用料収入は、昨年度と比べると少ないものの、大会数は2年連続で増加している。また、借入金はなく、正味財産期末残高はプラスであり、安全な資金運用に努め、健全運用をしている。
効 率 性	大会や合宿の利用増加により施設の有効活用を図り、必要最小限の人員で計画した事業収入を確保 できるよう効率的な業務推進に努めている。
総合的評価	大会数の増加により、メインの事業収入である競技会使用料収入は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復してきている。全体的に目的にあった計画的な運営を行った結果、正味財産期末残高はプラスであり、各種イベント等の開催で、地域振興に寄与しているなど公益性も高く、健全な経営状況であった。



対応策

新たな馬術大会や合宿、地域イベント等の誘致により、事業収益の確保に努めながら、光熱費や燃料

費等の経費節減により公益財団法人としての健全経営を目指す。 また、大会が実施されない、12月から2月まで冬期間の収益性を確保するため、馬を用いた委託試験 や合宿等の有効活用を関係機関と積極的に検討する。

### 【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	設立目的に沿った事業を実施し、本県の馬事振興に貢献するとともに、地域の観光協会、商工会等による山梨県馬術競技場サポートクラブと連携し、大規模馬術大会の運営をサポートすることで、地域の活性化に大きな成果をあげている。 目標達成度については、昨年度と比較し強化トレーニング参加団体数は減少したものの、大会数は増加している。引き続き誘致活動に積極的に取り組み大規模大会の誘致等により利用数を増やし、集客力の向上にむけ努力していく必要がある。
計画性	経営計画及び事業運営合理化計画に基づいた管理運営を行っていく必要がある。
組織運営の 適正性	組織の人員構成や業務内容のチェック機能は概ね良好である。また、各種規程等の見直しによる業務改善を常に心掛けており、ホームページを活用して、活動内容や財務状況等も積極的に公開している。
財務状況	今年度は施設使用料収入等が、昨年度と比べ減少したことや、物価高騰や高熱水料費の影響などから経常増減額は約177万円のマイナスとなったものの、借入金はなく、安全な資金運用など、全体的に見ると健全な経営と言える。
効率性	大会や合宿の積極的な誘致などにより、施設の有効活用を図り、必要最小限の人員で事業収入を確保できるよう効率的な業務の推進に努める必要がある。
総合的評価	目的に合った計画的な運営を行っている。前年度よりも施設使用料収入等の収入が減少したため、当期経常増減額はマイナスとなったが、借入金もなく、正味財産期末残高はプラスであった。 今後も引き続き、新たな大規模大会の誘致と大会の継続的な開催に努めることで収益を増加させ自立的経営を目指していく必要がある。

### 【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

/ A == /=	A 得点率80%以上かつ警戒指標なし
総合評価	B 得点率70%以上80%未満または警戒指標が1
ランク	得 点 率 88.0 % C 得点率60%以上70%未満または警戒指標が2
	警 戒 指 標 数 0 D 得点率60%未満または警戒指標が3以上
総合的所見	・地下馬道改修工事に向けて修繕引当資産から取り崩しを行ったことで流動資産が増加し、流動比率が上昇したため、財務状況の評点が上昇した。 ・令和4年度は、前年度と比較して開催大会数は増えたものの、参加馬が150頭を超える大規模大会が減少した。大規模大会が減り施設利用者数が減少したことに伴い、職員1人当たり施設等利用人数は減少し、効率性の評点が下降した。 ・総合評価はA評価を維持しており、今後も経費削減を行うとともに各関係機関との連携を強化し大会やイベント等を誘致するなど、県内における馬事振興・普及に寄与することが期待される。 ・今後も大会や合宿の積極的な誘致などにより、施設の有効活用を図り、必要最小限の人員で事業収入を確保できるよう効率的な業務の推進に努める

### 【総合所見等に対する今後の対応方針】



- ・今後も参加人数や頭数の多い大規模な全国大会を誘致するとともに、合宿の受け入れを推進し、公益目的 事業である施設利用料収入の確保に努めていく。
- ・また、大会オフシーズン(冬期間)における、馬を用いた委託試験や合宿等の施設の有効活用により、収益性を高めるとともに、光熱費や燃料費等の経費削減に努めることにより、財務状況の安定に取り組んでいく。
- ・令和6年度、北杜市や地域事業者による小淵沢エリアの観光推進事業と積極的に連携を図り、イベント等の誘致による利用者の増加に努めていく。